

令和6年度 第1回中野島多世代つながり愛プロジェクト協議会 開催レポート

開催日時

令和6年6月24日(月)

14時00分～16時00分

会場 | 中野島町会

参加者 | 18名

プロジェクトの目標

「子どもの健やかな成長の喜びを全ての世代が共有できるまち」

この目標に向けて、地域の皆様方と協議会を構成しあいさつ運動や多世代の交流の場づくり等の活動を通じて、中野島への愛着を育み、持続可能な地域づくりを進めています。

中野島多世代つながり愛
プロジェクト協議会



次第

- 1 令和5年度までの協議会について
- 2 今年度における多摩区の地域づくりの方針について
- 3 参加団体の紹介
 - ・中野島地区社会福祉協議会(フレンドクラブ)
 - ・NPO法人アイゼン(ゆい保育園たまがわ)
- 4 自己紹介・グループワーク
 - ・昨年度の振り返り
 - ・今年度の取組検討
 - ・グループワークの全体共有
- 5 地域での活動等各種報告

プロジェクト協議会参加団体

- 中野島町会
 - 中野島住宅自治会
 - 中野島多摩川自治会
 - 中野島団地自治会
 - 中野島地区老人クラブ連合会
 - 川崎市多摩区社会福祉協議会 事務局
 - 中野島地区社会福祉協議会
 - 稲田中野島地区民生委員児童委員協議会
 - 多摩川の里地域包括支援センター
 - 中野島中学校
 - 下布田小学校
 - 中野島小学校
 - カリタス学園幼稚園
 - 中野島フレンズ保育園
 - ハグミー・ナーサリー
 - なかのしまのぞみ保育園
 - 中野島のはら保育園
 - 中野島こども文化センター
 - NPO法人ままとんきっず
 - NPO法人アイゼン(ゆい保育園たまがわ)
 - まちプロ中野島
- ※第1回協議会の欠席団体も含む

1.令和5年度までの協議会について

本プロジェクトの背景や目標、令和5年度までの協議会の取組について事務局より説明を行いました。

令和5年度には、本プロジェクトの課題である「プロジェクトの周知が足りない」を解決するため、中野島地区でのイベントに参加したほか、梨のキャラクターの名前を公募により決めました。

中野島多世代つながり愛
プロジェクト協議会



2.今年度における多摩区の地域づくりの方針について

今年度における多摩区の地域づくりの方針について事務局より説明を行いました。

多摩区では区内を5地区に分け、それぞれの地域特性に応じた地域づくりに取り組んでおり、菅地区において、地域をより豊かにするために、地区内の様々な活動団体や場所などの地域資源を把握し、新たなつながり、新たな取組が生まれる環境・きっかけをつくる「地ヶ算」を創出しました。

今の取組に地域資源を少しかけ合わせることで、
取組がちょっと豊かになるアイデア

=

地ヶ算
「〇〇×〇〇」

中野島多世代つながり愛プロジェクト協議会でも「地ヶ算」という手法を用いて課題解決していきたいと考えています。

※本プロジェクトにおいて、既に、地ヶ算と呼んでいないだけで、多くの地ヶ算は創出されていると思いますので、改め、再定義できればと考えています。

【地ヶ算例/多世代交流の希薄化という課題に対して】

●公園を起点としたゆるやかな多世代交流

《保育園》 × 《公園体操》

3.参加団体の紹介

本プロジェクト参加団体間の相互理解を促進するため、中野島地区社会福祉協議会の奥沢氏より「フレンドクラブ」、NPO法人アイゼンの小山氏より「NPO法人アイゼン」の活動紹介をしていただきました。

NPO法人アイゼン→



←フレンドクラブ

4.自己紹介・グループワーク

Aグループ 課題(テーマ):防犯への取り組み(みんなで見守ろう地域の安全)

■R5年度の振り返り

- ・ 防災フェスを実施。また、子ども食堂や子どもフェスも開催しており、子どもフェスの際に部屋を開放もしている。
- ・ 隣接のデイサービスと交流があり、年長が歌をうたったり体操を披露したりしている
- ・ 75歳以上男性のみの「さんさん会」を実施した。
- ・ 文化祭では、社協と協力し高齢者体験を実施した。
- ・ 園庭を開放し移動動物園を実施したり、スケルトンゴミ収集車の見学イベントを実施し、近所の方も参加できるようにした。



■出来そうなこと・やりたいこと・コラボ(地ヶ算)したいこと

- ・ 「さんさん会」へ園児にも参加してもらい、多世代交流を実施する。
- ・ 防犯パトロールの際に、見まわりルートに保育園周辺を入れ、園児が散歩しているときに触れ合うことで関係性を作る。
- ・ 中学校が長期休みの際、保護者に保育園の行事を周知することで居場所づくりにつながる。
- ・ 中学生などが集まりやすい場所やテスト期間などの時期について防犯パトロールと共有し、見守りを強化する。

Bグループ 課題(テーマ):防犯への取り組み(みんなで見守ろう地域の安全)

■R5年度の振り返り

- ・ 防災フェスを実施。防災イベントは継続して実施したいと思っている。
- ・ 去年は敬老の集いなど催しを再開した。10月にはお祭り、町連運動会を実施。
- ・ キャラクターの投票などは参加した。
- ・ 昨年度からポールdeウォークとの交流を再開。10名くらいが参加している。その際に伝承遊び(コマや鞠つき)を教えてもらった。
- ・ 中野島の損保の家とも交流した。入居者向けにソーラン節を披露した。折り紙の花を入居者1人1人に手渡した。子どもも入居者も感動していた。



■出来そうなこと・やりたいこと・コラボ(地ヶ算)したいこと

- ・ 安全マップを作っている。中野島地区は他地区と比較し、子ども110番ステッカー(ドラえもんステッカー)を貼っている家が少ない。もう少し増えると良いと思っている。さらになかよしなっしーずを横に貼れるといい
- ・ なかよしなっしーずのスタンプラリーをハロウィンなどのイベントで利用したい。
- ・ ワンワンパトロールをやっているところがある。犬の散歩の際になかよしなっしーずの腕章をつけて散歩する。
- ・ 町会の防犯パトロールしている。ウォーキングがてらパトロールできるといい。
- ・ PTAなどの自転車にもパトロール中のラミネートになかよしなっしーずを入れてもらう。

自己紹介・グループワーク

Cグループ 課題:地域との交流がない

■R5年度の振り返り

- 多世代交流等、交流の場をもつことが大切。
- 協議会で知り合った団体の施設に広報のチラシを貼ってもらうことができた。
- プロジェクトの周知ができていない印象がある。
- 毎週水曜日の下校時に見守りパトロールを実施しているが、街ゆく人に挨拶することの難しさを感じる。
- 保育園の夏祭りを地域向けに開放している。
- ファミリーカフェを休止しており、育児中の保護者世代との交流が途絶えている。



■出来そうなこと・やりたいこと・コラボ(地ヶ算)したいこと

- 本協議会の参加団体以外の活動も共有できればよい。
- 連合町会の運動会において、着席を自治会ごとにする、地域の顔見知りを作ることができ、安心につながるのではないかな。
- 協議会の団体の発行物に、なかよしなっしーずを共通で入れるようにする。
- 保育園でのらぼう菜を育てる際に、アドバイザーとして栽培に詳しい地域の方に来てもらう。
- ポールdeウォーク時に、保育園を給水スポットとして活用できる。

Dグループ 課題:地域との交流がない

■R5年度の振り返り

- 年に1回程度、テーマを設けて多世代での取組ができたならよいのでは。
- 地域との関わりがあまりできなかった。
- 少しずつ行事ができるようになった。
- 子供を持つ母子とのお茶飲み会を企画したが、子供が落ち着いて参加できずうまくできなかった。
- 他の団体と活動時間が違うため、合わせるのが難しかった。

■出来そうなこと・やりたいこと・コラボ(地ヶ算)したいこと

- 本プロジェクトのつながりをより深めるために、スタンプラリーを実施。具体的には、プロジェクトメンバーの施設に台紙やスタンプを準備し、保育園の散歩コースに組み込む。
※時期はハロウィンが1つのタイミングか。

- 今まで以上に本プロジェクトのメンバーが知り合うことが必要ではないか。そのために、イベントを実施し、企画や準備を通じて何度も顔を合わせながら知り合うことが重要である。

- コロナ前に実施していた老人施設への保育園児訪問を再開していきたい。



6/24に開催した本プロジェクトから生まれた地ケ算の種

■Aグループ

<稲田中野島地区民生委員児童委員協議会> × <ゆい保育園たまがわ>

- ・75歳以上の男性を対象として実施している「さんさん会」にゆい保育園たまがわの園児にも参加していただき、多世代交流を実施する。

<ゆい保育園たまがわ> × <見まわりパトロール>

- ・見まわりルートに保育園周辺を入れ、園児が散歩しているときに触れ合いを行う。

<中野島中学校> × <見まわりパトロール>

- ・中学生はテスト前など部活がなく、自由な時間が増えることで外にたまってしまうことがあるため、そういった機会を捉え、中学生も見まわりパトロールに参加してもらう。



■Bグループ

<送迎時の保護者、地域住民> × <なかよしなっしーず(協議会)>

- ・送迎時などに身に着けていることで、挨拶しやすく、地域住民のつながりのきっかけに。なかよしなっしーずを付けている人には相談していい、と思われるようキャラクターを根付かせる。

<中野島フレンズ保育園> × <まちプロ中野島>

- ・伝承遊びなどを通じてシニアと園児の交流。

<中野島こども文化センター> × <高齢者施設>

- ・ダンスを披露、折り紙のプレゼントなどで多世代交流。

<防犯> × <ウォーキング>

- ・地域住民がウォーキングをしながら地域の見守り。(なかよしなっしーずを付けて)

中野島多世代つながり愛
プロジェクト協議会



■Cグループ

<ハグミー・ナーサリー> × <まちプロ中野島>

- ・区役所から多摩区の伝統野菜である「のらぼう菜」のタネが支給される予定だが、育て方が分からない。まちプロ中野島の中で農業等に詳しい人に保育園に来ていただき、育て方を教わり、多世代交流を行う。

<まちプロ中野島> × <ハグミー・ナーサリー>

- ・ポールdeウォーク実施時に、保育園を給水スポットとして協力することができる。



■Dグループ

<中野島のはら保育園> × <各団体>

- ・本プロジェクトの保育園と各団体のつながりをより深めるために、保育園の散歩時に、各施設を巡るスタンプラリーを実施する。プロジェクトメンバーの施設にスタンプ台などを設置する。スタンプが貯まった場合は、なかよしなっしーずのシールなどを配布する。

<特別養護老人ホーム多摩川の里> × <中野島のはら保育園>

- ・コロナ禍前に実施していた多世代交流を再開させたい。

